



イノベーションで先へ行く! 走れ! 未来へ
ON THE RUN!

エラストマーで新事業の領域へ。
そこは時代の少し先にあります。

●医療機器・ヘルスケア機器 ●電子資材 ●新ソリューション

2020年3月期第2四半期 決算概要

2019年11月11日

バンドー化学株式会社

3年連続選定



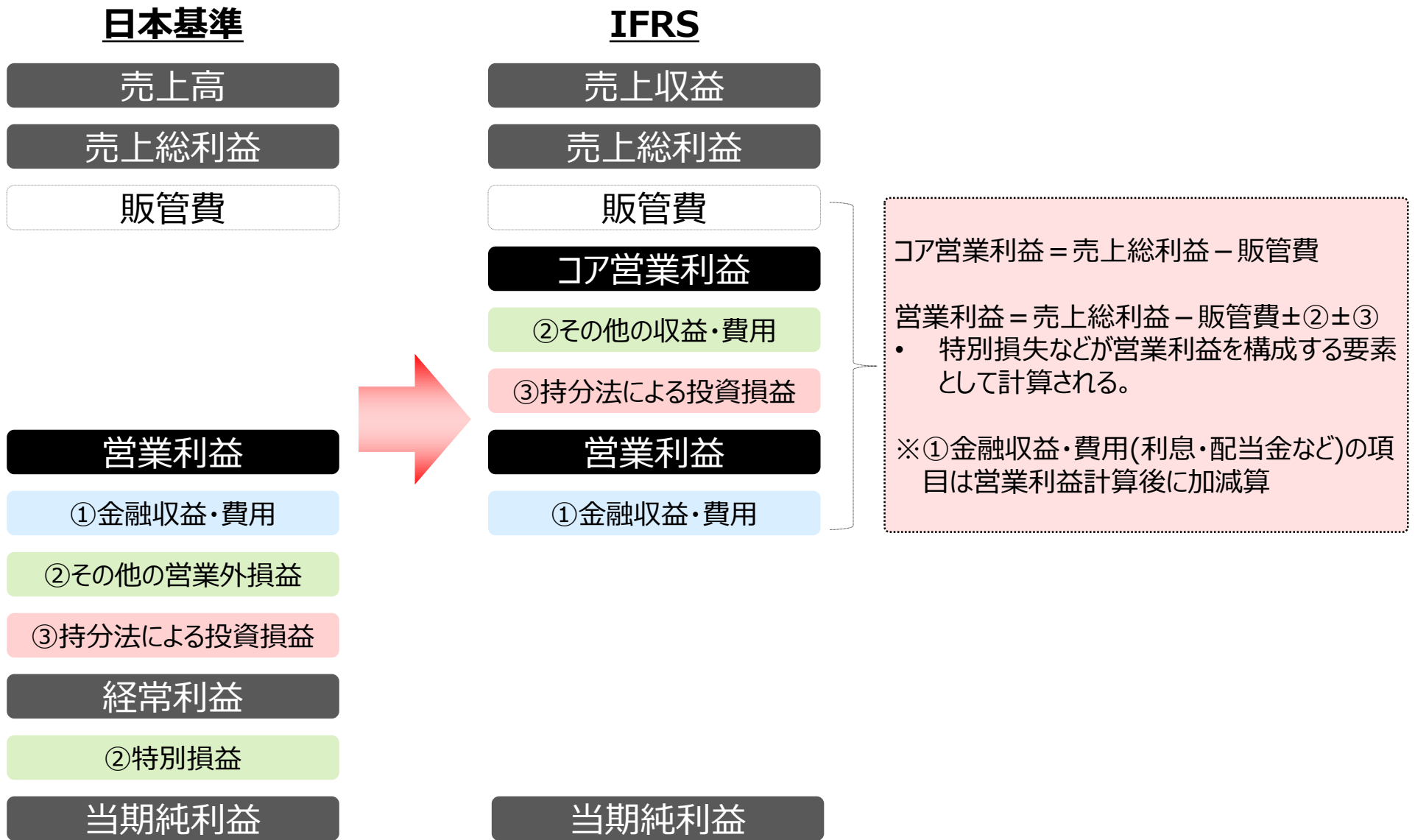
2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

I . 2020年3月期第2四半期 決算概要

II . 2020年3月期 業績予想

I . 2020年3月期 第2四半期決算概要

IFRS任意適用における日本基準からの変更点



2020年3月期第2四半期 決算概要

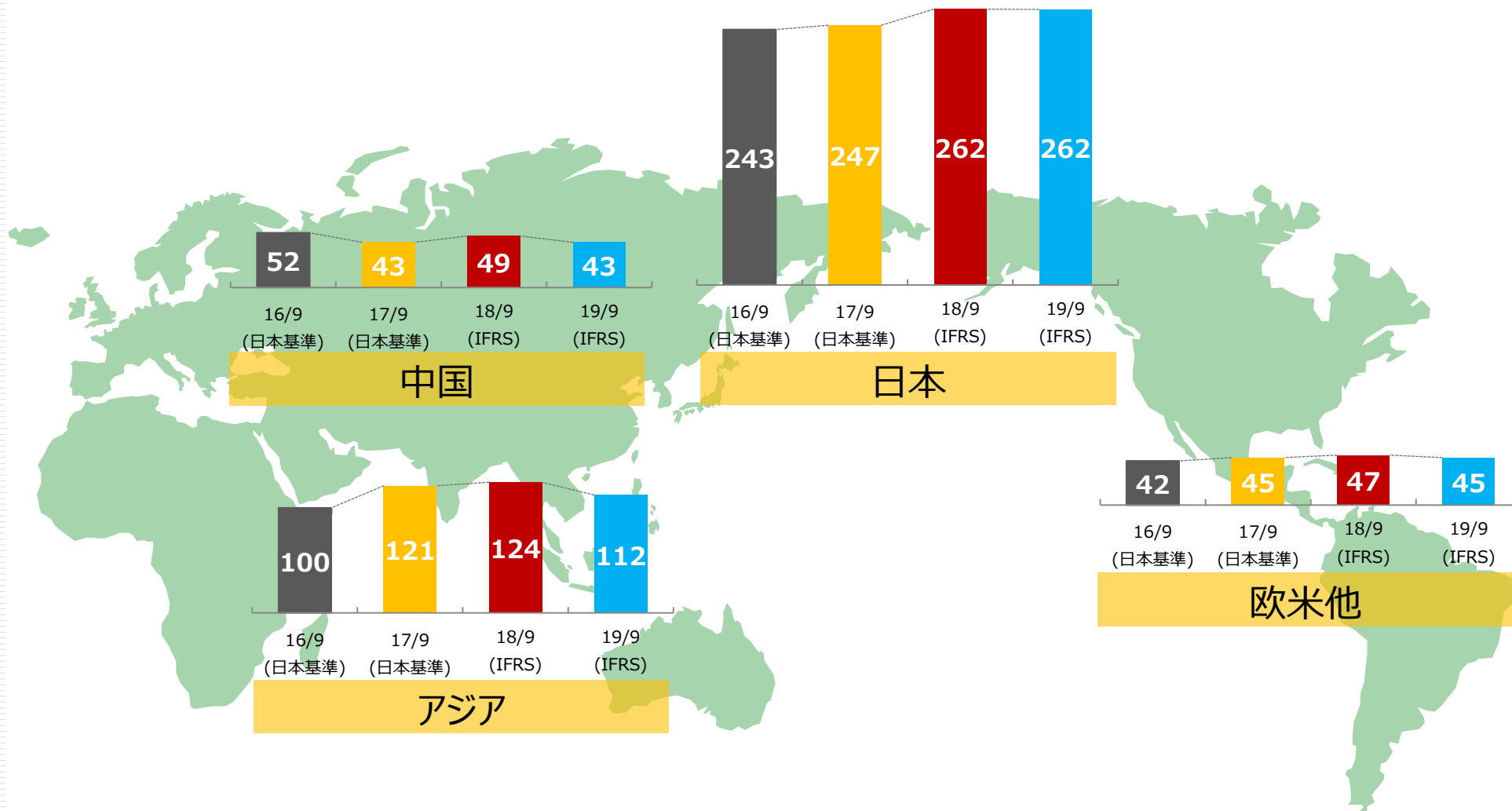


(百万円)

	2018/9	2019/9		2020/3	
	実績	実績	前期比	業績予想値	達成率 (対業績予想値)
売上収益	48,299	46,234	△2,064	93,000	49.7%
コア営業利益	4,034	3,019	△1,015	6,000	50.3%
営業利益	4,417	2,854	△1,563	6,000	47.6%
税引前利益	4,769	2,681	△2,088		
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,621	2,122	△1,499	4,500	47.2%

- 売上収益は、米中貿易摩擦の長期化の影響もあり、海外を中心に減収となった。
- コア営業利益は、子会社の新規連結による増益要因があったものの、既存事業において、減収およびセールスマックスの変動による売上原価率の悪化により、減益となった。
- 営業利益は、主に、リスク分担型企業年金への移行損の計上(△447百万円)により、減益となった。
- 税引前利益は、上記要因に加え、為替差損益が悪化に転じたこと等により、減益となった。

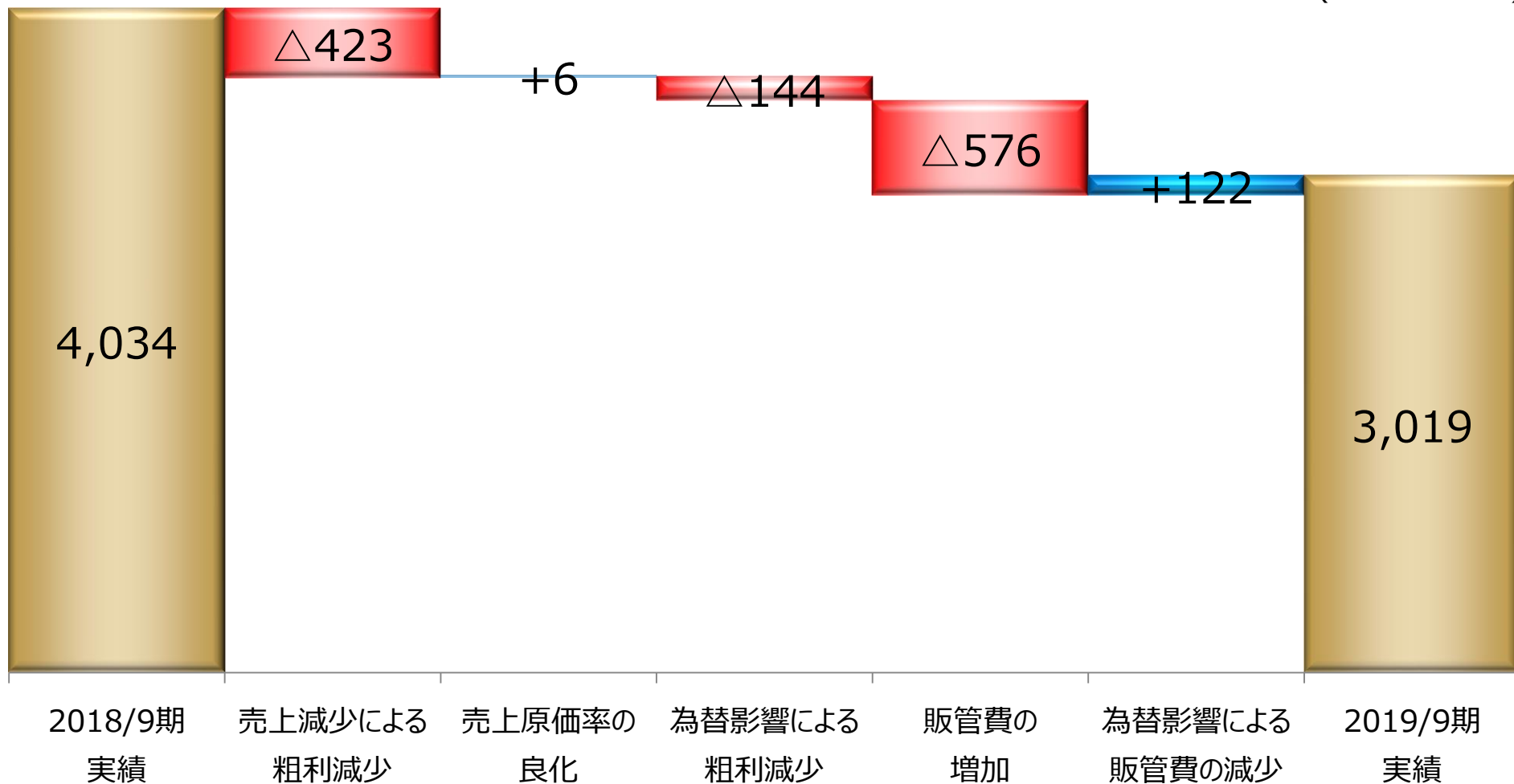
(単位：億円)



(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。

2020年3月期第2四半期 連結コア営業利益 増減分析

(単位：百万円)



2020年3月期第2四半期 セグメントの状況



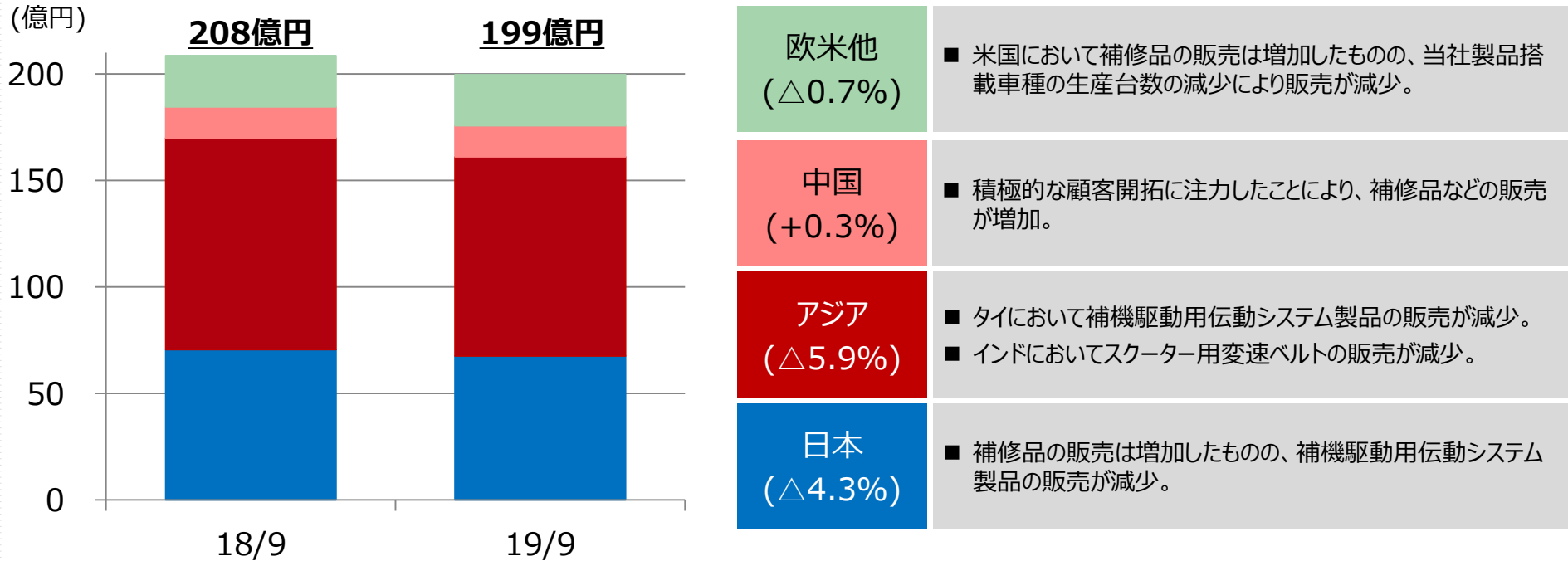
(百万円)

	2018/9	2019/9		
	実績	実績	増減額	増減割合
売上収益	48,299	46,234	△2,064	△4.3%
自動車部品事業	20,899	19,972	△927	△4.4%
産業資材事業	18,449	17,015	△1,433	△7.8%
高機能エラストマー製品事業	7,502	7,023	△479	△6.4%
その他	1,870	2,570	+700	+37.5%
セグメント間消去	△422	△347	+74	-
コア営業利益	4,034	3,019	△1,015	△25.2%
自動車部品事業	1,684	1,130	△553	△32.9%
産業資材事業	1,229	1,252	+22	+1.9%
高機能エラストマー製品事業	367	213	△154	△41.9%
その他	462	310	△151	△32.7%
セグメント間消去等	291	112	△179	-

自動車部品事業 概要



所在地別売上高

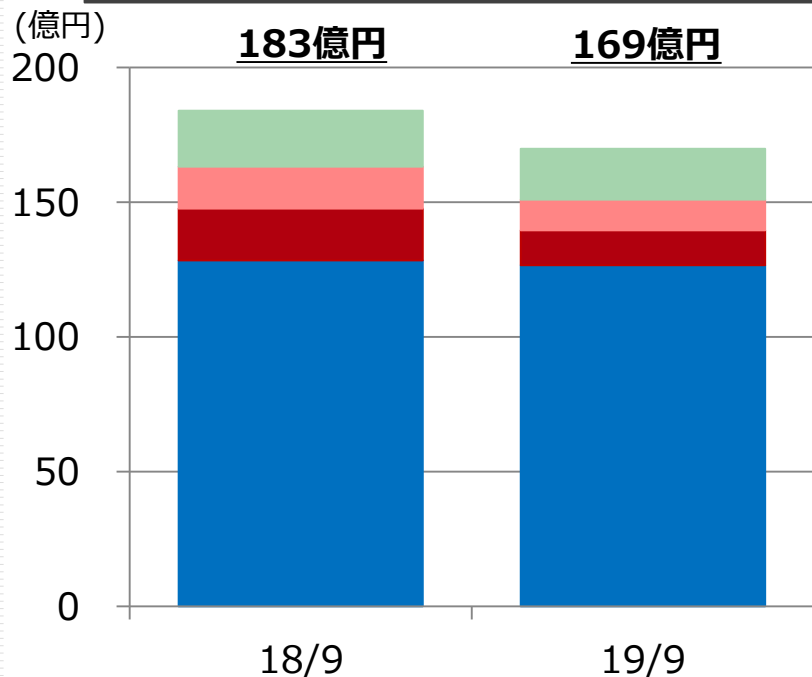


コア営業利益



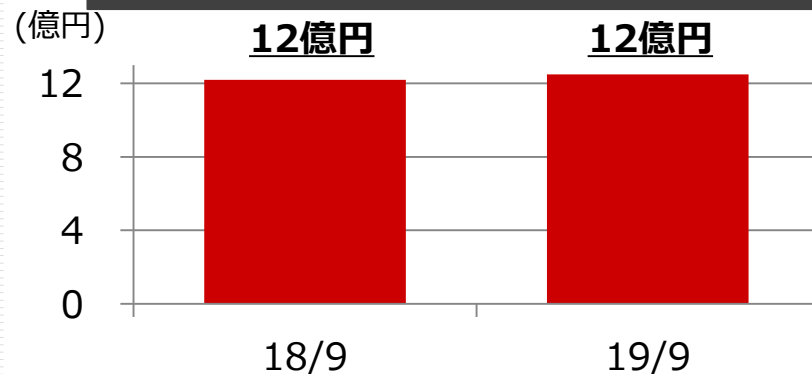
産業資材事業 概要

所在地別売上高



- | | |
|-----------------|--|
| 欧米他
(△8.9%) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 米国においては、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。 ■ トルコにおいては、経済の減速基調により、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。 |
| 中国
(△26.6%) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 農業機械用伝動ベルトなどの販売が減少。 |
| アジア
(△32.3%) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 農業機械用伝動ベルトなどの販売が減少。 |
| 日本
(△1.5%) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 機械受注の減速基調により、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。 ■ 大型案件の増加により鉄鋼向けコンベヤベルトの販売が増加。 ■ 物流機器向け樹脂コンベヤベルトなどの販売が増加。 |

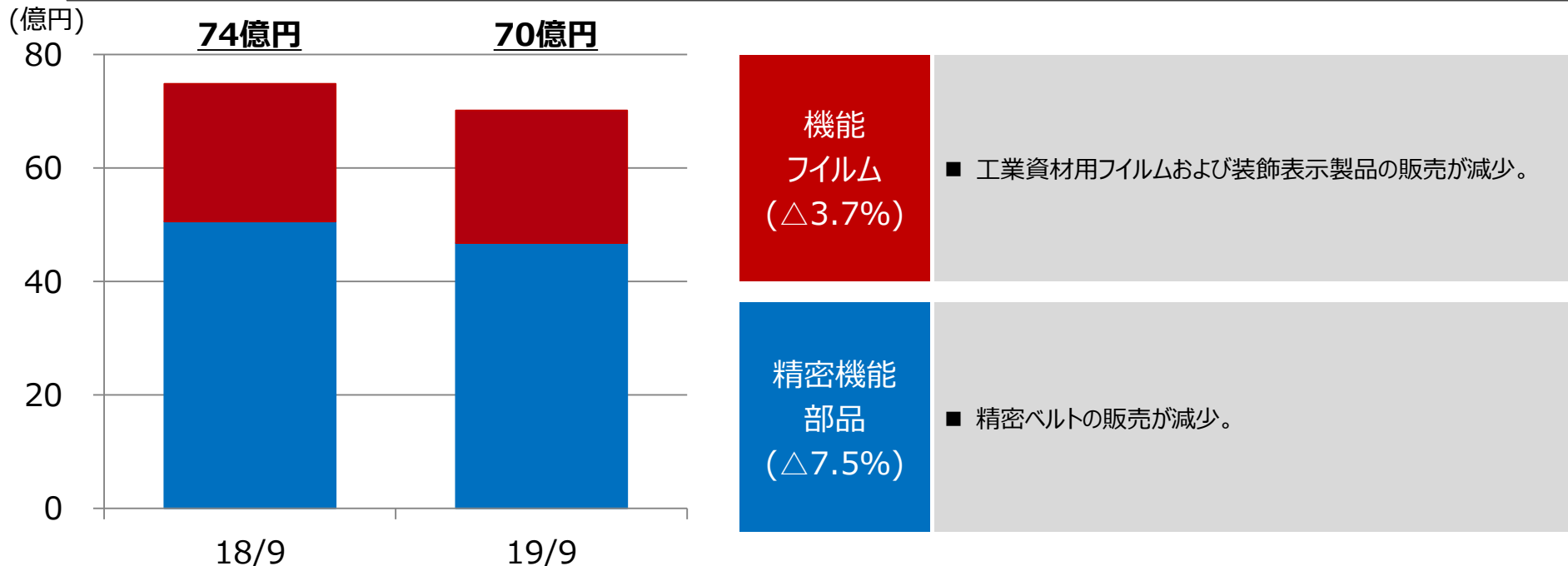
コア営業利益



- | | |
|-------------------|--|
| コア営業利益
(+1.9%) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 前年度は取引先への不具合対応があったため、販売は減少したが、利益は増加。 |
|-------------------|--|

高機能エラストマー製品事業 概要

事業別売上高



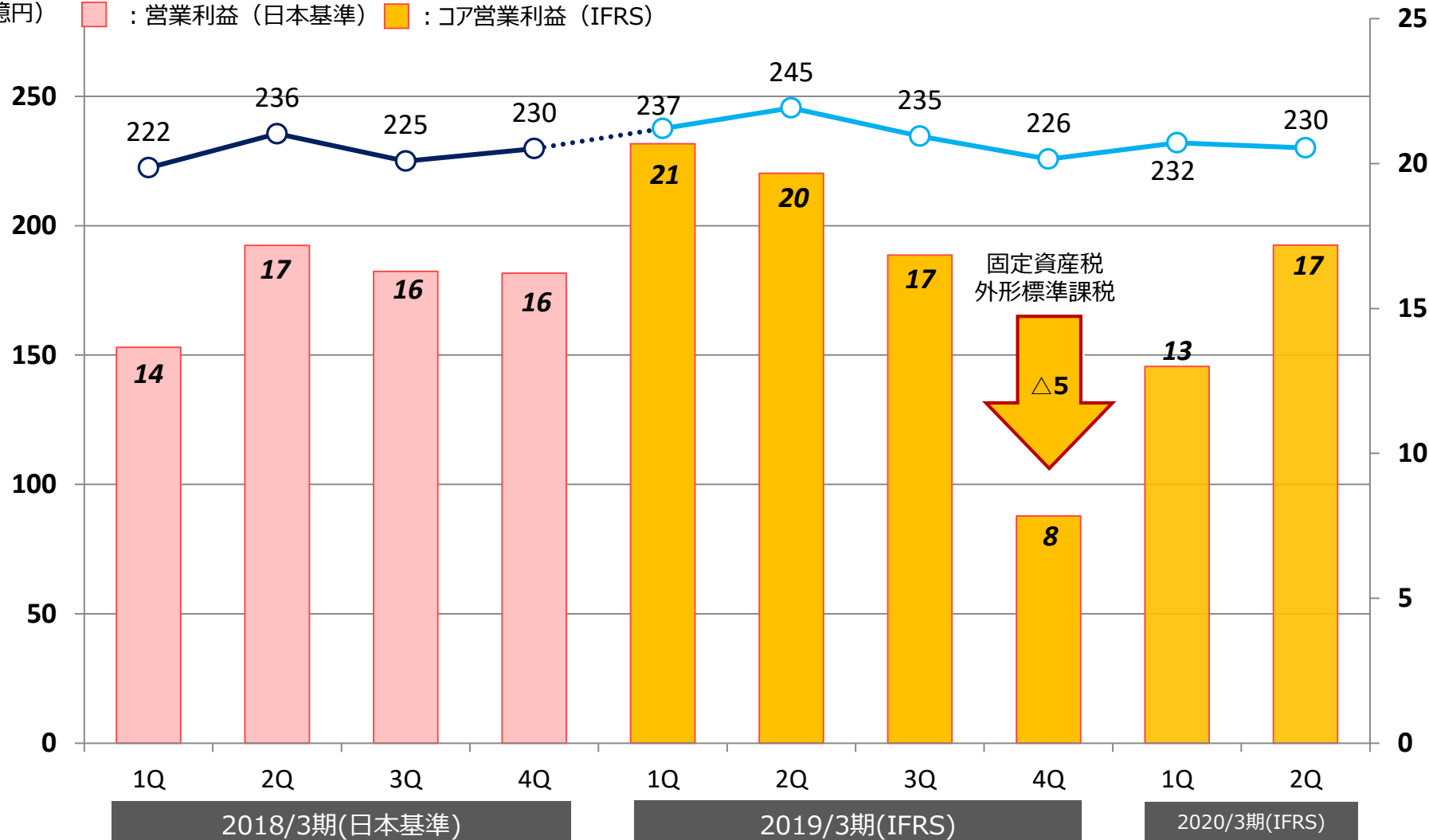
コア営業利益



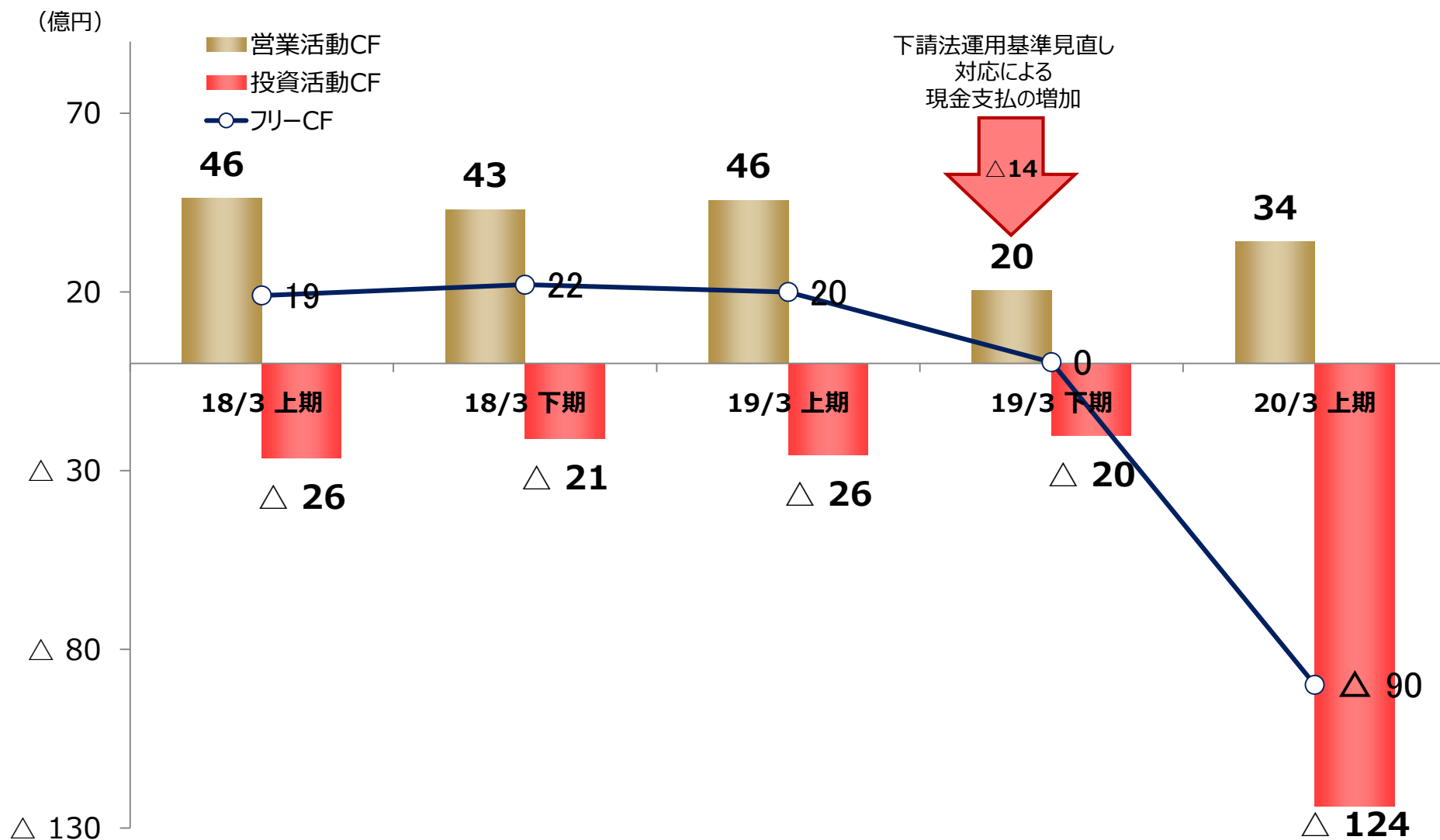
四半期推移 (売上収益/コア営業利益)

売上高/売上収益 (億円)
 ○ : 売上高 (日本基準) ○ : 売上収益 (IFRS)
 ■ : 営業利益 (日本基準) ■ : コア営業利益 (IFRS)

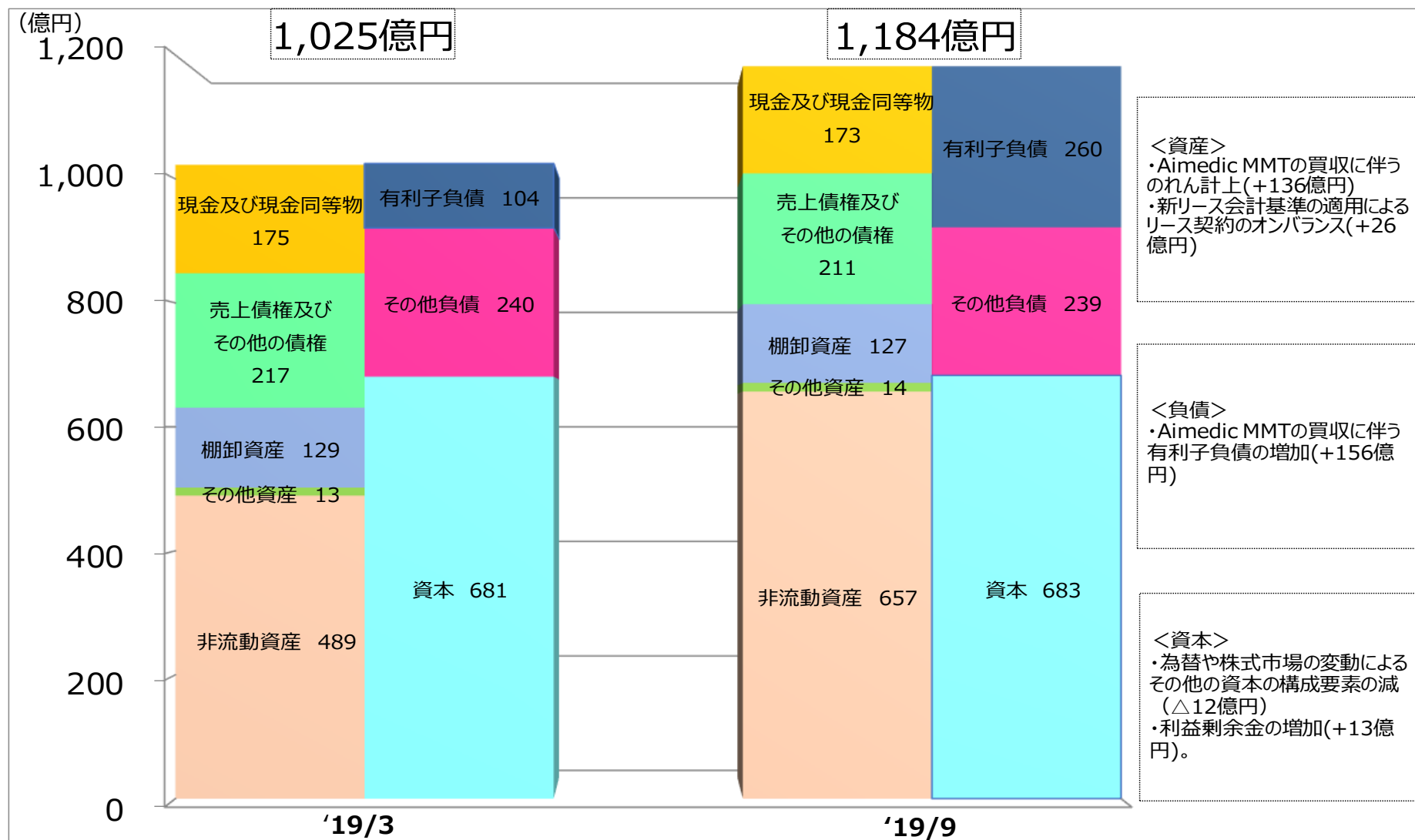
営業利益/コア営業利益 (億円)

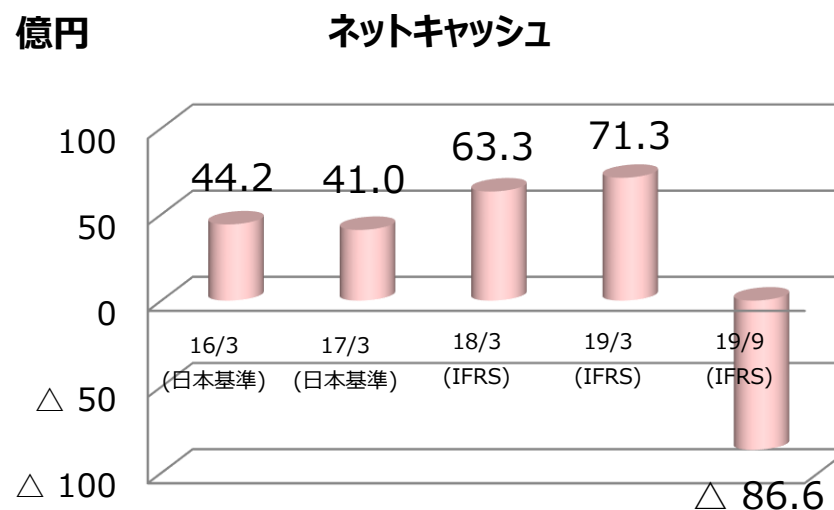
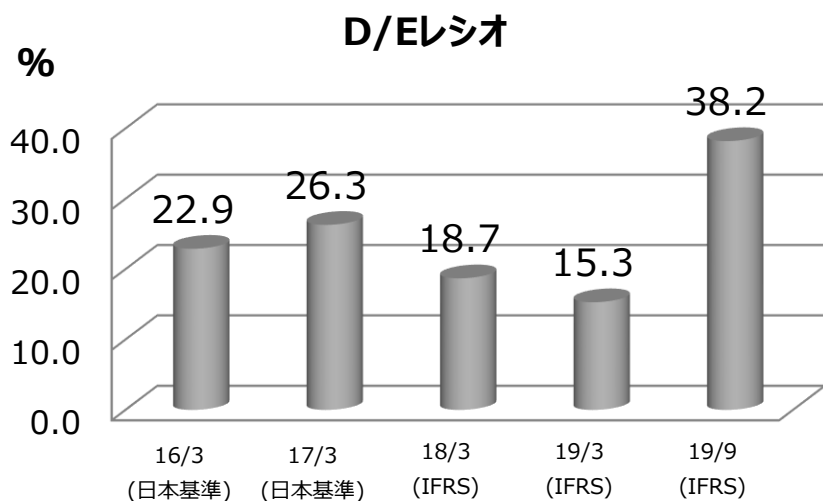
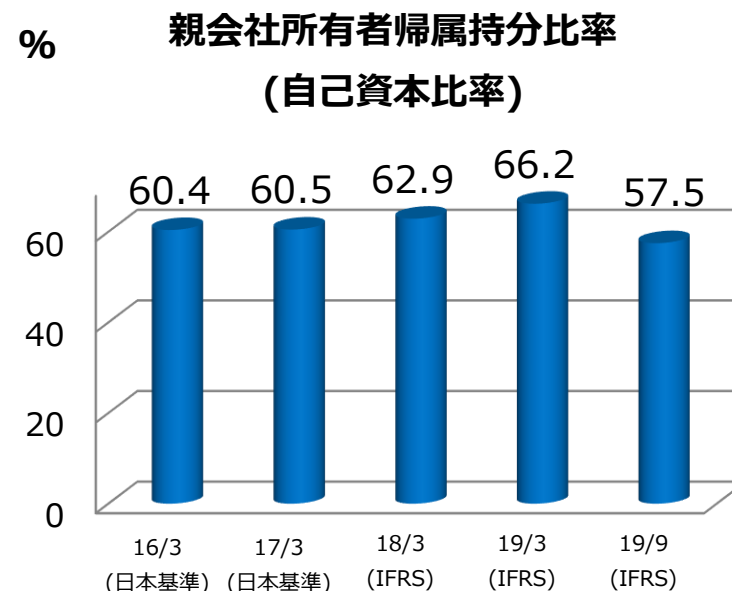
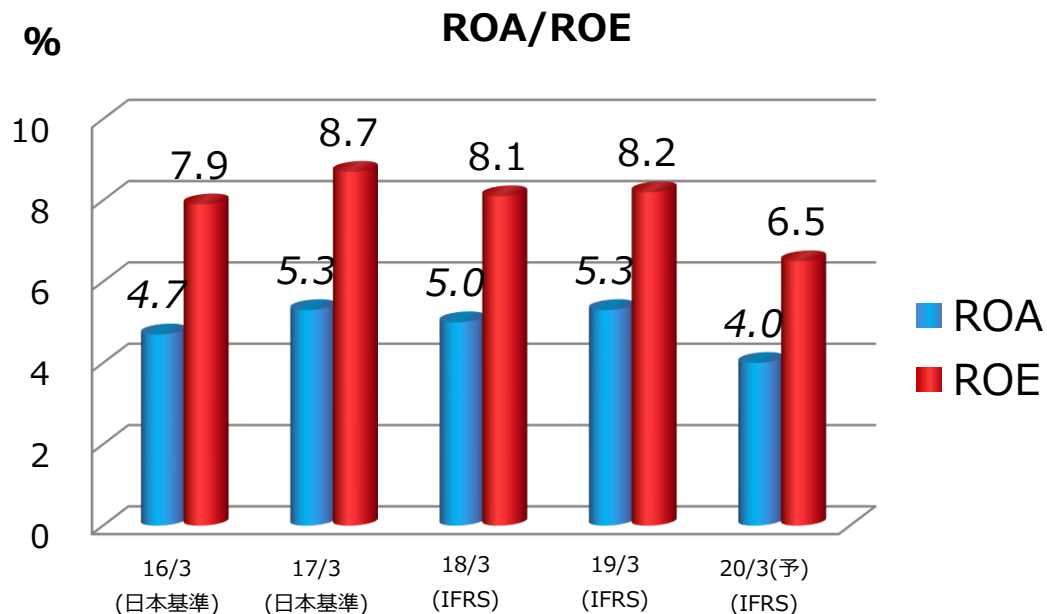


キャッシュフローの推移



連結財政状態計算書





主なトピックス

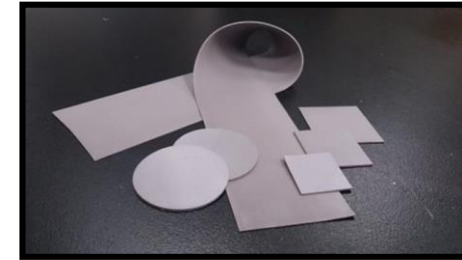
2019年

5月・医療機器メーカー株式会社Aimedic MMTの
全株式を取得し、子会社化



整形外科向けインプラント等の医療機器を提供する
「株式会社Aimedic MMT」

7月・「NANO KOREA 2019」に出展

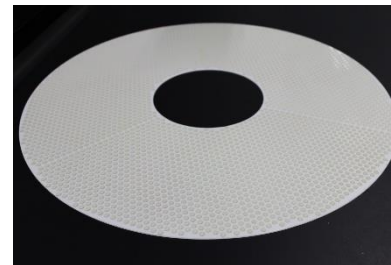


NANO KOREA2019
熱マネジメント関連製品を出品

・「2019国際食品工業展(FOOMA JAPAN2019)」に出展

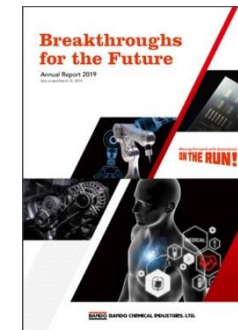
・「第2回 5 G/IoT通信展」に出展

8月・「CSR報告書2019」を発行



5G/IoT通信展
研磨パッド「TOPX®」などを出品

9月・「アニュアルレポート2018(英語版)」を発行



FOOMA JAPAN2019
軽搬送ベルト「ミスターシリーズ」での課題解決を訴求

Ⅱ. 2020年3月期 業績予想

2020年3月期 業績予想



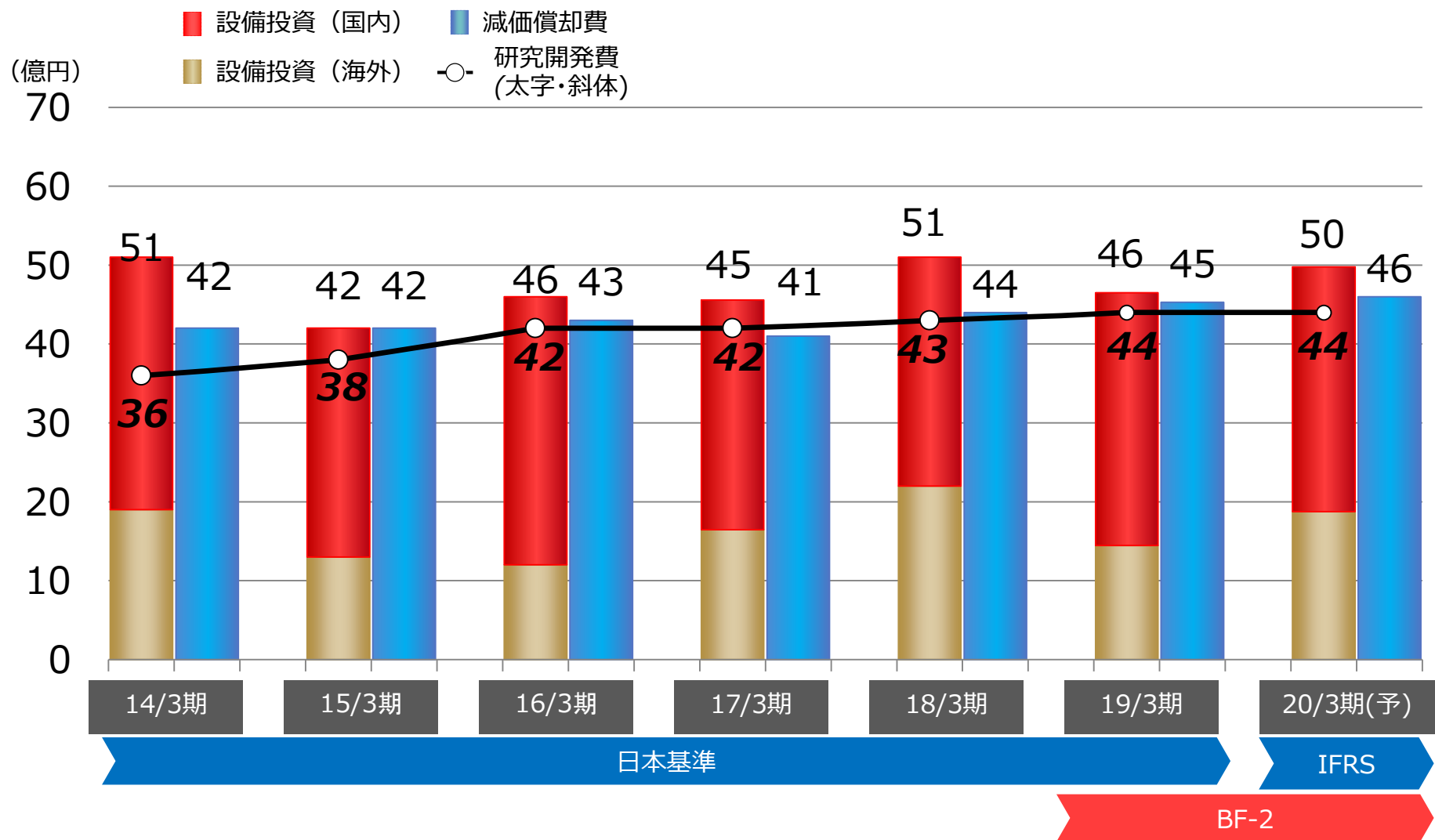
(百万円、%)

	2019/3 実績	2020/3 予想	前年同期比	
売上収益	94,318	93,000	△1,318	△1.4%
コア営業利益	6,503	6,000	△503	△7.7%
営業利益	6,815	6,000	△815	△12.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	5,457	4,500	△957	△17.5%

為替レート	U S D	111.04	106.83		
	T H B	3.43	3.40		
	人 民 元	16.49	15.42		

- 2019年8月9日に公表した業績予想から変更なし。

設備投資額と減価償却費、研究開発費の推移

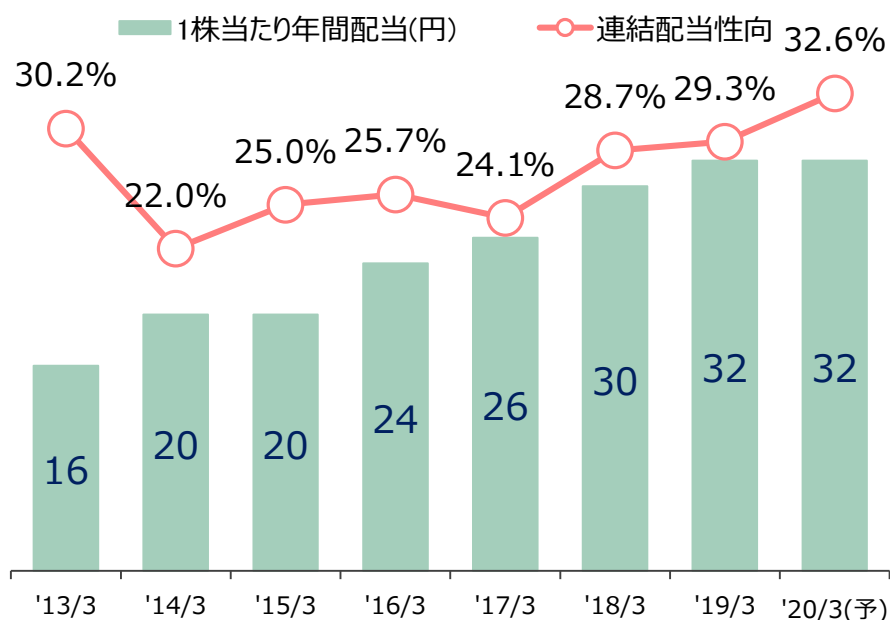


(注) 20/3期(予想)の数値は、(株)Aimedic MMTの株式取得を考慮する前のものとなります。
 20/3期(予想)の減価償却費の数値は、IFRSを適用した後の数値となります。

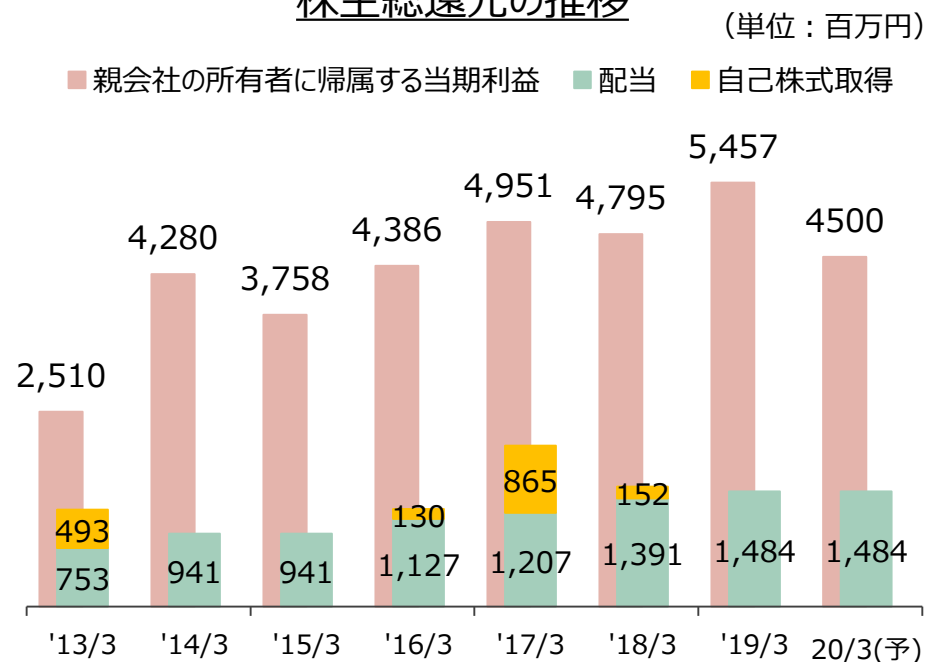
基本方針

収益および財務状況を配慮しつつ、当面の連結配当性向は30%を目処に安定した利益配当を行うことを目標とし、利益還元の充実に努める。

1株当たり年間配当・連結配当性向の推移



株主総還元の推移



※2016年10月1日付にて普通株式2株につき1株の割合にて株式併合を実施しており、1株当たりの年間配当はこの影響を補正した数値を記載しています。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。